

KIRIN



よろこびが  
つなぐ世界へ  
Joy brings us together



## キリングループの持続可能な農業への対応戦略

「農」×「企業」連携セミナー ～SDGsの実現と企業のCSV活動の促進に向けて～

東京ウイメンズプラザ ホール

2021年11月8日

キリンホールディングス株式会社

CSV戦略部 シニアアドバイザー 藤原

本日に一緒に考えたいこと



「農」×「企業」で豊かな地球を次世代につなぐポジティブなインパクトとは？

- キリングループ概要
- 生物資源リスク調査
- スリランカ紅茶農園へのレインフォレスト・アライアンス認証取得支援
- 日本ワインのためのブドウ畑生態系調査
- まとめ

### 【自己紹介】

藤原 啓一郎（ふじわら けいいちろう）

キリンホールディングス株式会社 CSV戦略部 シニアアドバイザー

出身： 大阪

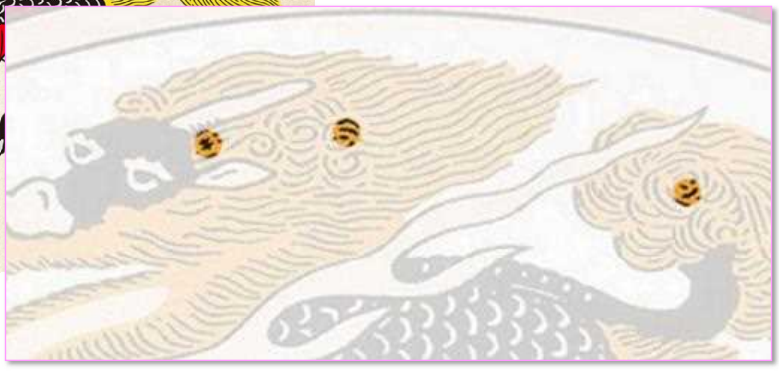
主な業務： 長期環境ビジョンの策定、スリランカ紅茶農園へのレインフォレスト・アライアンス認証取得支援、紙容器のFSC化、TCFD対応、環境報告書、若年層向けワークショップなどを立案・担当

外部委員等：環境省・環境報告ガイドライン検討会委員  
(2017～2018年)

TCFD業種別ガイダンス検討委員 (2020年)  
地球温暖化防止全国ネット・地球温暖化防止  
活動推進委員 (2020年、2021年)

不履生蟲、不踐生草（せいちゅうをふまず、せいそうをふまず）

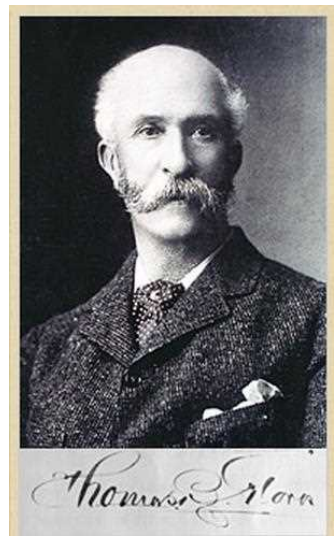
地に足を下ろさず、虫を踏まず、草を折らない、と言われている伝説の聖獣「麒麟」



### 麒麟のラベル

長崎グラバー亭のグラバーさんが発案？

1885～ ジャパン・ブルワリー	1888 麒麟ビール発売	1907～ 麒麟麦酒	2007～ 麒麟ホールディングス
---------------------	-----------------	---------------	---------------------



グラバー



● 酒類・飲料や医薬、ヘルスサイエンス事業等のユニークなポートフォリオ

売上利益： 1兆8,495億円

事業利益： 1,621億円 (2020年実績)



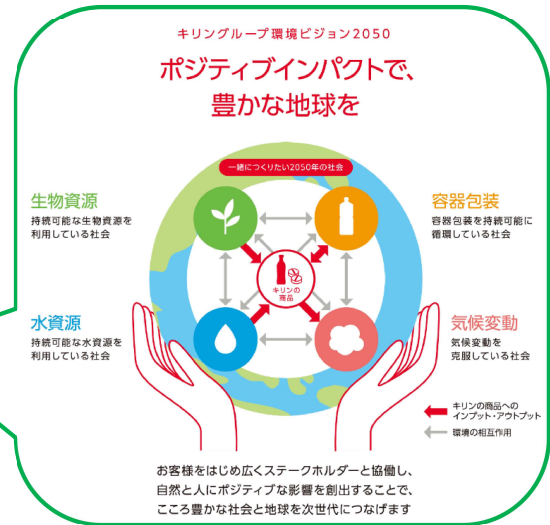
世界の動きとキリンのアクション

キリングループは、2013年から紅茶農園へのRA認証取得支援、2014年に自然資本算出など世界の動きを先取りし、環境対策で業界をリードしてきた



キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します

CSV (Creating Shared Value) 共通価値の創造



## キリングroup環境ビジョン2050

本日は、「持続可能な農業」についてご紹介します。

**レインフォレスト・アライアンス認証  
取得支援 & 日本ワインのための  
ブドウ畑生態系調査**

**生物資源**  
持続可能な生物資源を  
利用している社会

**製造拠点の  
水源の森活動**

**水資源**  
持続可能な水資源を  
利用している社会

**原料生産地水源保全**

**キリングgroup環境ビジョン2050**  
**ポジティブインパクトで  
豊かな地球を**

一緒につくりたい2050年の社会

**容器包装**  
容器包装を持続可能に  
循環している社会

**気候変動**  
気候変動を  
克服している社会

← キリンの商品への  
インプット・アウトプット  
← 環境の相互作用

お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し、  
自然と人にポジティブな影響を創出することで、  
こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます

**FSC®認証紙  
使用比率100%**

**再生PET樹脂  
100%**

**RE100  
CLIMATE GROUP**

**使用電力の再生可能  
エネルギー100%化**

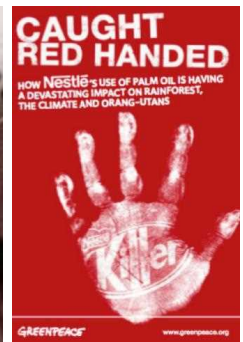
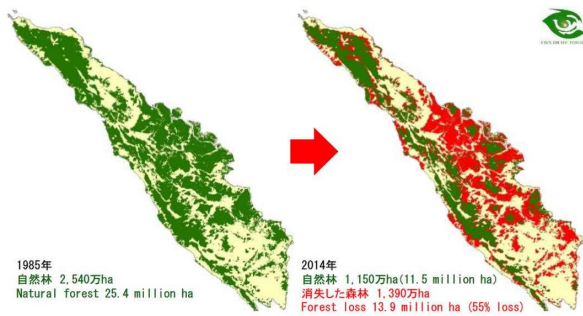
# 生物資源リスク調査

Joy brings us together

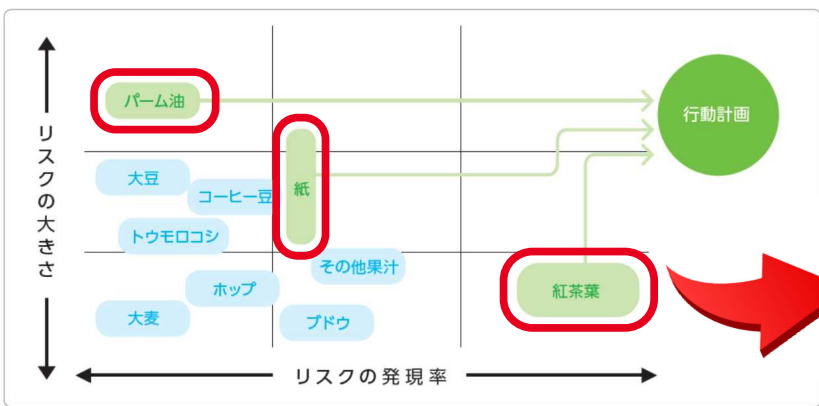
## 生物資源のリスク



インドネシア・スマトラ島では55%も森林が消失（平野部の森林は消滅）  
パーム油では、インドネシア森林違法伐採由来として企業が批判を受ける



森林破壊のリスクおよびレピュテーションリスクの観点から調査を実施し、2013年から、パーム油、紙、**紅茶葉**を特定し、目標を定めて対応を開始



**熱帯雨林を違法に切り開いて作ったプランテーションで生産したものは調達しない。**

FSC認証紙

キリンビール・キリンビバレッジ・メルシャンの紙容器で2020年11月に、**FSC認証使用比率100%**を達成

【FSC認証紙使用比率】 (2020/12末)

種別	目標	目標年	FSC認証紙比率	FSCラベル付与比率
ビール6缶パック	100%	2017年末	100%	約93%
飲料6缶パック	100%	2017年末	100%	約78%
ギフト箱	100%	2020年末	100%	100%
飲料紙パック	100%	2020年末	100%	約75%
酒紙パック	100%	2020年末	100%	約9%
飲料製品用段ボール箱	100%	2020年末	100%	約85%
ビール・RTD製品用段ボール箱*	100%	2020年末	100%	100%
ワイン・焼酎製品用段ボール箱	100%	2020年末	100%	0%

※業務用を除く



# スリランカ紅茶農園へのレインフォレスト・アライアンス認証取得支援

Joy brings us together



## レインフォレスト・アライアンス認証取得支援の背景



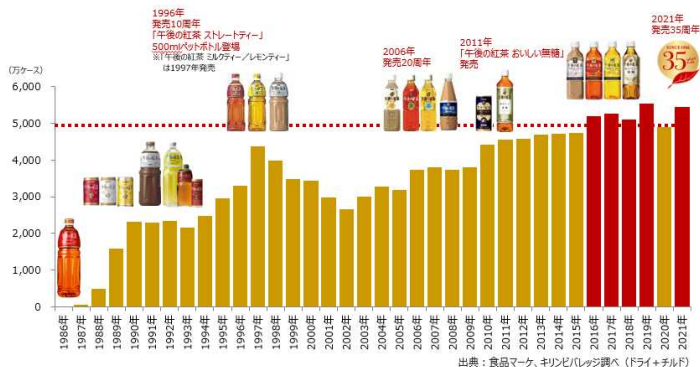
紅茶葉のスリランカへの依存度が高い

(日本の輸入茶葉の約50%がスリランカ産。その約24%を午後の紅茶で使用)

1986年 ⇒ 2020年

約**250倍**

「キリン 午後の紅茶」ブランド販売量推移



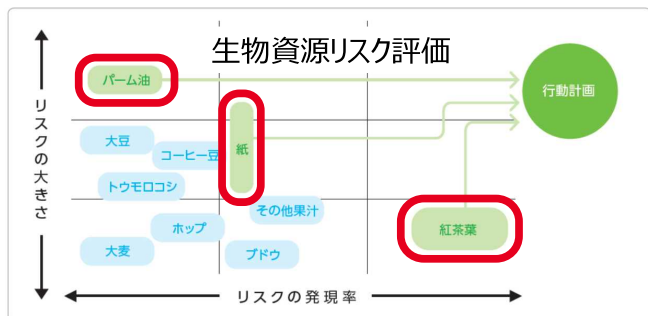
日本が輸入する紅茶葉の産地の割合



キリン 午後の紅茶に使用

スリランカ産の輸入紅茶葉の  
約**1/4**が「キリン 午後の  
紅茶」に  
使用されています。

※ 日本紅茶協会2011年紅茶統計より



生産地やそこで働く人々とのより良いパートナーシップを築き、おいしくて安心できる紅茶飲料をつくり続けていくために、認証取得支援を開始

## キリンの選択肢

① 持続可能な茶葉だけを選別して調達する

認証を取得しているのは  
資金的に余裕のある農園

持続可能な農業を目指す意思はあっても、資金がない農園を切り捨てることになる。

② 紅茶農園が認証を取得する支援を行う

認証茶葉が手に入るまでに長い期間が掛かる

認証茶葉を調達するのではなく、  
生産地全体を持続可能にする。  
↓  
農園の認証取得支援を選択。



- 野生動物を保護
- 廃棄物の管理
- 排水処理
- 農薬・肥料などの化学品管理
- 土壌流出の防止
- 子供の教育

## レインフォレスト・アライアンス認証取得による環境面の成果

野生生物の保護、廃棄物管理だけでなく、  
地を這う草を斜面に植え土砂崩れを防ぐことで、気候変動対応にもなる

野生生物



廃棄物



土砂崩れ



森林



排水処理



【シナリオ分析・農産物生産地水リスク】





スリランカ紅茶農園の認証取得はスムーズに推移

今後は、持続可能な農業を目指す紅茶農園をお客様に知っていただく活動にフェーズに移行

スリランカ全体の認証取得済み  
大農園のうちキリングループの  
支援で取得した割合



小農園認証取得支援



トレーニング農園数：2,120農園  
(認証取得農園数：120農園)

【スリランカの認証農園の茶葉を90%以上使用した通年製品発売開始】

**正面**

**側面**

- 正面にレインフォレスト・アライアンス認証マークを配置
- 側面で「午後の紅茶のスリランカの紅茶農園支援」を訴求
- FSC認証用紙を使用

社会的インパクト（成果）と認証取得支援活動の拡大

認証取得によって、紅茶農園の収益と茶摘みさんの給料が向上、疾病率も低下  
得られた知見をベースとして、認証取得支援をベトナムのコーヒー農園にも拡大

【ベトナム コーヒー農園】

【紅茶農園収益・茶摘みさん給料】

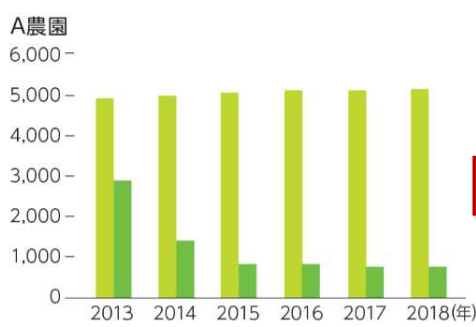


■ kgあたりの利益 (左軸)

○-労働者の給料 (右軸)

※ いずれも2013年を100として指数化

【紅茶農園居住者疾病率】



■ 総人口 ■ 継続する熟・他疾患



工場の流域だけではなく、バリューチェーンでの水使用についても対応が必要  
気候変動の影響評価も加えつつ、科学的な管理手法についてもトライする



スリランカ紅茶農園内の水源地保全活動を開始

標高の高い農園の中の水源地は大都市の水源地となっている  
2018年から水源地保全活動支援を開始し、現在12カ所の保全活動を実施



# 日本ワインのためのブドウ畑生態系調査

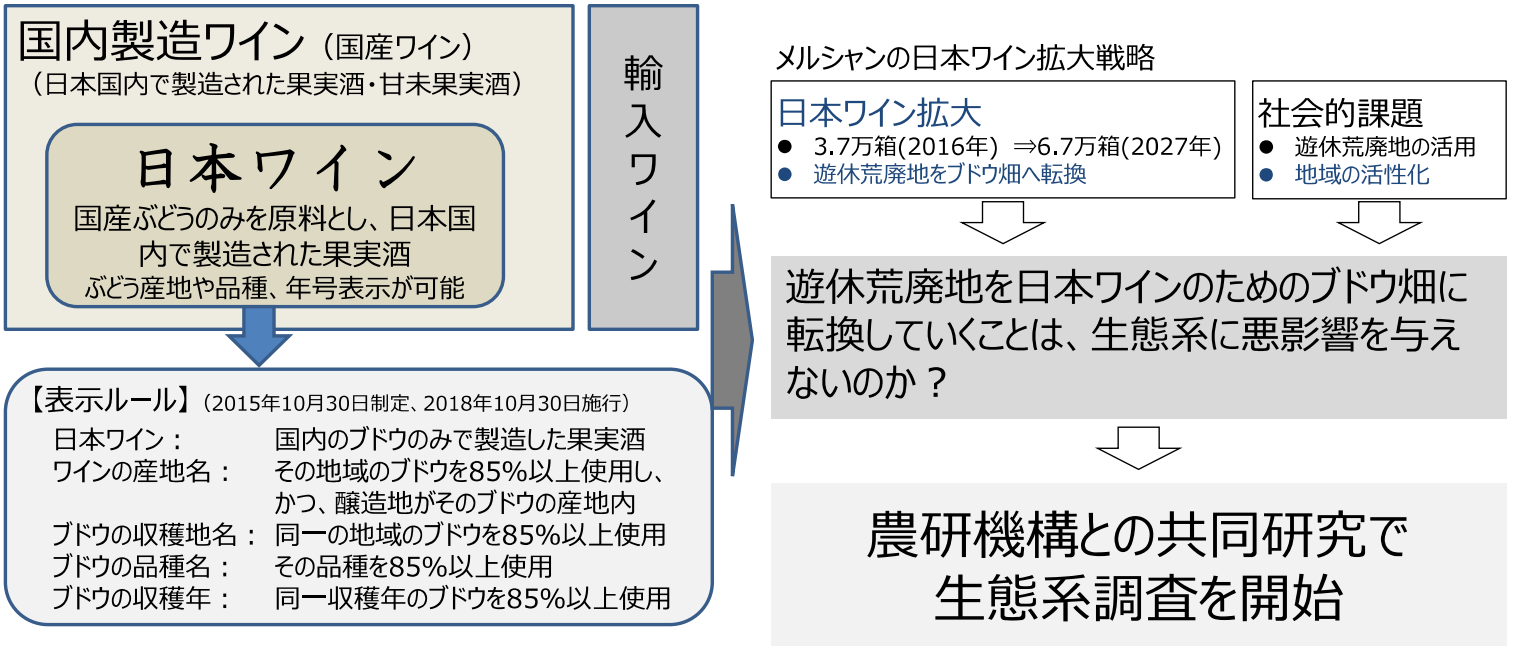
Joy brings us together



## 日本ワインのためのブドウ畑



遊休荒廃地を、日本ワインのためのブドウ畑にする生態系への影響を  
2014年から農研機構との共同研究で調査を開始



**【表示ルール】** (2015年10月30日制定、2018年10月30日施行)

日本ワイン： 国内のブドウのみで製造した果実酒  
 ワインの産地名： その地域のブドウを85%以上使用し、かつ、醸造地がそのブドウの産地内  
 ブドウの収穫地名： 同一の地域のブドウを85%以上使用  
 ブドウの品種名： その品種を85%以上使用  
 ブドウの収穫年： 同一収穫年のブドウを85%以上使用

椀子ヴィンヤード（長野県）で多数の昆虫、植物を発見  
レッドデータブックに載る希少種（植物・昆虫）も発見された



ベニモンマダラ:環境省ならびに長野県レッドリストの準絶滅危惧種



クララ:環境省レッドリストの絶滅危惧 I A 類(長野県の絶滅危惧 I B 類)であるオオルリシジミの唯一の食草。



ウラギンスジヒョウモン:環境省レッドリストの絶滅危惧 II 類。長野県レッドリストの準絶滅危惧種



ユウスゲ:長野県レッドリストの準絶滅危惧種



メハジキ:長野県レッドリストの準絶滅危惧種



スズサイコ:環境省ならびに長野県レッドリストの準絶滅危惧種

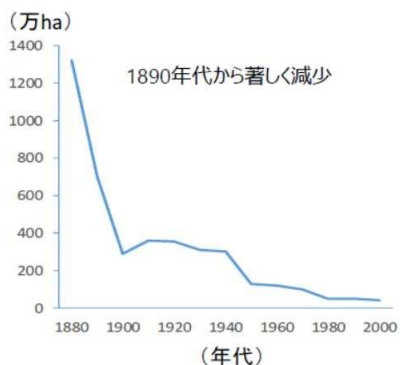


日本ワインのためのブドウ畑が良質で広大な草原

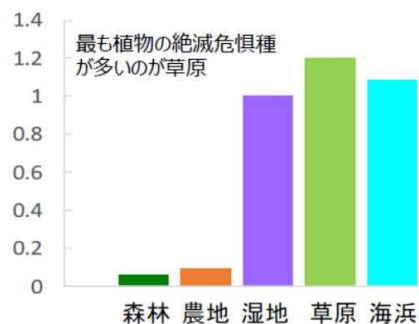
遊休荒廃地を、垣根栽培・草生栽培のブドウ畑にすることは、  
良質で広大な草原を創出することに繋がっている

日本の草原面積は大きく減少している  
国土の30% (1880年代) ⇒ 1%  
戦後、最も減少した自然環境は草原であり、  
草原に生息する生きものが絶滅の危機に瀕している

ブドウ栽培のために、  
・土壌流失防止のために下草を生やす  
・定期的に「草刈り」を行う  
ことで、広大で良質な草原が出現した



※林野面積年統計、農林省統計表、農林水産省統計表より集計

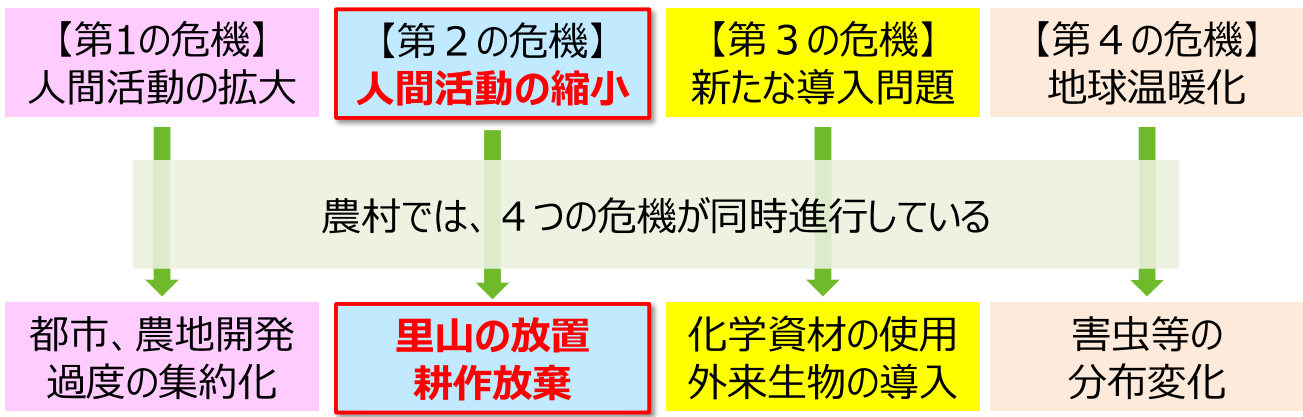


※1haあたりの絶滅危惧植物 西日本草原研究会 (2007) より



生物多様性を育む農村環境が喪失していく中で、  
日本ワインのためのブドウ畑の草原環境創出は貴重

愛知ターゲット7：2020年までに農林水産業が行われている地域が、  
生物多様性の保全を確保するように持続的に管理される



その他の垣根栽培・草生栽培のヴィンヤードでの生態系調査

城の平ヴィンヤードでも希少種が見つかった  
30年前から垣根栽培・草生栽培を行っている



キキョウ：環境省レッドリストの絶滅危惧種Ⅱ種、山梨県レッドリストの準絶滅危惧 (NT)



ギンラン：環境省レッドリストの絶滅危惧種Ⅱ種、山梨県レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



城の平ヴィンヤードでの丁寧な草刈り

天狗沢では、遊休荒廃地の状況から調査を開始し、  
ブドウ畑に転換している過程を調査する世界でも珍しい研究を実施中

天狗沢ヴィンヤードの転換過程



ウラギンスジヒョウモン  
環境省レッドデータブック絶滅危惧種Ⅱ類

© Kirin Holding ※2017年は生態系調査なし、植物の調査は2018年からとなります。

梔子ヴィンヤードでは、  
クモ、鳥、ミミズの調査も開始



クモ調査



鳥調査



© Kirin F 土壌生物調査

2016年からは、専門家の指導のもと、従業員参加による希少種・在来種の植生再生活動を開始し、良質な草原に変化



秋に枯葉を取り、再生地に捲く



ノコギリヤス  
定着した在来種

クララを増やす活動 with アースウォッチ・ジャパンとそのボランティア

希少種のオオルリシジミの幼虫の唯一の食草クララを増やす活動を、NGOとボランティアとで実施して成功、本年からは地元小学校が参加

クララ再生活動



2019年に挿し穂取り(左上)を行い、農研機構で苗に養成した後、ボランティアが約2年間育て、2021年5月末に親子ヴィンヤードに植樹



クララ



※ 農研機構が阿蘇で撮影したオオルリシジミ

今年から、梔子ヴィンヤード麓の小学校もクララを増やす活動に参加  
緊急事態宣言下の9月初に、長野・香川をオンラインで結んで実施



シャトー・メルシャンのヴィンヤードはネイチャー・ポジティブ

日本ワインのためのブドウ畑を広げることは、「G7 2030自然協約」および  
TNFDが求める「ネイチャー・ポジティブ」につながっている

遊休荒廃地を草生栽培のブドウ畑へ



従業員による希少種・在来種再生活動



ボランティア・小学生によるクララを増やす活動



G7 2030自然協約  
TNFD (目的)

2030年までに生物多様性の損失を止めて逆転させ、「ネイチャー・ポジティブ」にする  
世界の資金の流れを変え「ネイチャー・ネガティブ」から「ネイチャー・ポジティブ」に変えるため、  
企業が自然関連リスクを報告し行動するための枠組みを作る。



## まとめ

Joy brings us together

そもそも、サステナビリティとは



「将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発」  
【1987年「環境と開発に関する世界委員会」報告書「Our Common Future」】

リオ地球サミット  
伝説のスピーチ

だから、大人のみなさん、どうやって直すのかわからないものを、壊し続けるのはもうやめてください。

SDGs前文

### 地球

我々は、地球が現在及び将来の世代の需要を支えることができるように、持続可能な消費及び生産、天然資源の持続可能な管理並びに気候変動に関する緊急の行動をとることを含めて、地球を破壊から守ることを決意する。

環境ビジョン2050

## ポジティブインパクトで、豊かな地球を

お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し、自然と人にポジティブな影響を創出することで、こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます

気候変動により農産物の大幅な収量減が予想されている

農産物	キリングループシナリオ3:4℃・望ましくない世界 2050年			
	アメリカ (南北)	アジア	欧州・アフリカ	オセアニア
大麦	カナダ ▲12% (2100年) 米国 +9% (2100年)	西アジア ▲5%~+10% 韓国 +0.5%	フィンランド ▲5.9% (春大麦) フランス ▲10%以上 (冬大麦) 地中海沿岸 ▲20%以上 (春大麦) 西部 ▲0.3% (ドイツ・スイス・フランス・イタリア) 東部 +4.4%	西オーストラリア ▲10~30%
ホップ	米国 (ワシントン州) ▲16% (2100年)		チェコ ▲8.5%	
紅茶葉		スリランカ 低地で収量減、高地では影響が少ない インド (アッサム地方) 平均気温28℃を超えると1℃ごとに3.8%の収量減 インド (ダージリン地方) ▲40%~▲80%	ケニア 適地が標高1500m~2100mから標高2000m~2300mに移行、ケニア西部で適地大幅縮小、ケニア山地域では継続して適地 マラウイ Chitipa地区適地▲80% Nkhata Bay地区適地▲60% Mulanje地区適地+70% Thyolo地区適地+20%	
ワイン用ブドウ	米国 (カリフォルニア州) 適地▲60% 米国 (北西部) 適地+231% チリ 適地▲25%	日本 (北海道) 適地拡大 ビノ・ノール栽培可能 日本 (中央日本) 適地拡大の一方高温障害も予想	北欧 適地+99% 地中海沿岸 適地▲68% スペイン ワイン生産量全体は1℃上昇ごとに▲2.1% (スペイン全体) ▲4.6% (アンダルシア地方) ▲4.8% (Duero River Valley) ▲34.6% (地中海沿岸北部)	ニュージーランド 適地+168% オーストラリア南部沿岸部 適地▲73% オーストラリア南部沿岸部以外 適地▲22%
コーヒー豆	ブラジル アラビカ種の適地▲55% ロブスタ種の適地▲60%	東南アジア アラビカ種の適地▲60% ロブスタ種の適地▲52%	東アフリカ アラビカ種の適地▲13% ロブスタ種の適地▲16%	

今後の取り組み

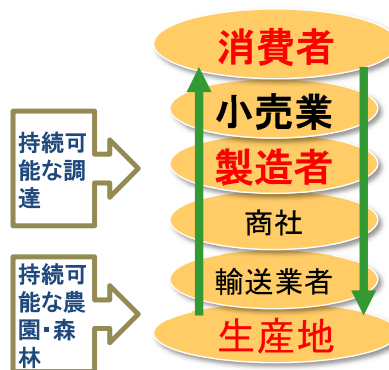
「環境ビジョン2050」の達成に向けて「生物資源利用行動計画」を改訂  
ブランドを代表する商品でCSVを具現化

生物資源利用行動計画の改訂

国内飲料事業の紙容器FSC認証紙使用比率100%など、現行動計画は達成。  
環境ビジョン2050の達成を目指して、行動計画を改訂。



改訂後	
紅茶	スリランカの紅茶農園のRA認証取得を支援 認証ラベル付き商品の通年販売
紙	国内だけでなく、グローバルに対象範囲を拡大
パーム油	1次・2次原料の証書購入し、100%達成継続 KIWの1次原料は2030年迄にリアル認証油 調達、2次原料は流通に働きかけ
コーヒー	対象にコーヒーを追加。ベトナムのコーヒー農園の RA認証取得を支援
大豆	対象に大豆を追加。持続可能性の高い農園 の大豆の使用



日本を世界の銘醸地に

日本ワインが、日本と、世界中の人たちに愛されて親しまれる日ができるように

